

築館高等学校 一迫商業キャンパス

校訓 共助・研鑽・進取

キャンパス校訓 誠実 自律 奉仕



1 基本データ

創立：昭和48年
 課程・学科：全日制課程・情報ビジネス科
 生徒数：40名（令和7年度入学生定員数）
 所在地：〒987-2308
 栗原市一迫真城字町東133番地
 TEL：0228-52-4112
 FAX：0228-52-4111

ホームページアドレス：
<https://ichisho.myswan.ed.jp>
 電子メールアドレス：
ichisho@od.myswan.ed.jp
 主な交通機関：
 栗原市民バス 花山線一迫商業高校前

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

学びたいがそこにある！

一迫商業高等学校の伝統を引き継ぎ、地域との関わりを大切にしながら、生徒主体で取り組む“地域になくはない学校づくり”を目指しています。

生徒に身につけてほしい資質の柱は、「想像力」と「創造力」です。情報ビジネス科での学びを通して、「情報の力」で地域を創る人財を育み、学びたい！で溢れた学び舎を生徒とともにつくっていきます。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

大正13年3月、一迫町立一迫実科高等女学校として開校し、その後一迫高等女学校、宮城県築館高等学校一迫分校となり、昭和48年4月に独立開校。平成6年度、商業教育の専門性を高めるために学科改編をおこない、流通経済科、会計科、情報処理科の3学科(男女共学、学科別募集、推薦入学制有り)としましたが、少子化の影響で会計科の募集を停止し、平成23年度から流通経済科、情報処理科の2学科となりました。

令和7年度入学生からは築館高校一迫商業キャンパスとして生まれ変わります。情報ビジネス科として「情報の力で地域を創る人財」を育める教育課程を編成し、次世代を見据えた教育内容を展開します。一迫商業高校から地域との結びつきを継承し、地域社会の人々の期待を担いながら、産業経済の振興発展に寄与する有為な人財の育成を目指しています。

(2) 教育方針

「誠実・自律・奉仕」をキャンパス校訓とし、新しい時代における産業・経済社会を担う者として欠かすことのできない教養・知識・技術を十分に身に付け、強靱な身体と不屈の意志を育てることを目標にしています。

また、地域に愛され、地域に信頼され、地域になくはない学校を目指し、校訓「誠実・自律・奉仕」の精神を身に付け、地域社会を担うことのできる有為な人財を、商業教育を通して育成しています。

(3) 教育課程の特色

<情報ビジネス科>

情報を活用し地域社会に貢献していくための知識・技術について主に学習します。

「情報」では、具体的には、情報処理やプログラミングなど基礎知識の定着から始まり、ソフトウェア活用やCG演習(仮称)によって、情報を効果的に活用する技術を育成していきます。

「ビジネス」では、具体的には観光ビジネスという科目で観光に関する学習やデュアルシステム、総合的な探究の時間を通して地域社会と密接に関わり、「情報」で身につけた知識・技術を用いて「地域課題の解決」や「魅力発信」などに取り組んでいきます。最終的には「情報を効果的に活用し、課題解決能力や主体性をもった人材の育成」を目指します。

教育課程の編制にあたり

【商業科目】

専門的な情報スキルの育成
 課題発見・解決能力の育成
 ビジネスの基礎知識・技術

栗原版
 デュアルシステム
 (地域との連携)

学校で学んだ専門知識・技術を地域で発揮し、栗原市の地域の魅力を発信し、さらに、諸活動を通して、生徒の課題発見・解決能力のさらなる向上とキャリア形成を目指していく。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

運動部では、硬式野球部が第77回選抜高校野球大会に出場し、ベスト16になりました。平成29年度、令和元年度に陸上のやり投げ競技でインターハイに出場しました。また、弓道部はインターハイの出場実績があります。女子剣道部は平成25年度から地区総体3連覇を達成しました。

文化部では、ワープロ部が平成26年度から3年連続東北大会出場を果たし、個人では全国大会に出場しました。商業研究部は平成29年度に県で優勝、東北大会3位となり活発に活動しています。どちらの部も商業高校ならではの特色ある部活動であり、東北大会常連校(強豪)です。

生徒会活動も活発で、運動会、文化祭、球技大会等の諸行事の企画運営はもちろん、朝の挨拶運動、学校周辺のゴミ拾い、道路の花壇の整備、地域の配食サービスなど、ボランティア活動にも積極的に取り組み、地域に根ざした学校づくりを目指しています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R5	R4	R3
大学	2	1	3
短期大学	0	1	1
専各学校	15	16	9
就職(県内)	11	13	25
就職(県外)	2	3	3
その他	0	0	3
卒業生計	30	34	44

主な進路先(令和6年3月卒業生)、
 ()内は人数 (1)は省略。

<大学>

東北学院大学、石巻専修大学

<専修各種学校>

宮城農業大学校、花壇自動車大学校(3) 宮城調理専門学校(4)、東北電子専門学校(2)、仙台大原簿記情報公務員専門学校、東北ヘアモード学院、仙台デザイン&テクノロジー専門学校、仙台こども専門学校、仙台医療福祉専門学校

<就職(県内)>

ナブコト株式会社(2)、株式会社勝野製菓宮城、東北部品株式会社、株式会社東北イノック築館工場、株式会社クックガーデンHOYA株式会社ペンタックスライフケア宮城事業所、株式会社エコプラス、株式会社アルファス計装、トヨタ自動車東日本株式会社

<就職(県外)>

アイエイテロジスティックサービス株式会社、株式会社共立メンテナンス



3 学校魅力発信

(1) 栗原版デュアルシステム

栗原版デュアルシステムは地域産業界と連携を図りながら職業人として地域社会に有為な人材を育成することを目的とし、「総合実践」の中の「販売実習」「起業家研究」「企業実習」を中心とする取り組みです。

「販売実習」は地元のイベントや商業施設の一部を借りて生徒が物品販売をするものですが、商品のリサーチや仕入交渉から店舗運営、会計決算までの全てを行います。

「起業家研究」は課題解決の手法について学び、企業が抱える実際の課題に対して、企業と生徒と一緒に考え、解決を図るものです。

「企業実習」は2年次で行う3日間のインターンシップよりも長い、年間20回程度の長期企業実習を行うものです。

以上のような3年次の取り組みを念頭に、2年次には総合的な探究の時間で「インターンシップ」に向けての学習を行います。また1、2年次には「拡大社会人講話」を実施します。

学習した内容を更に深めるために、インターンシップ終了後、2年生は1年生に対して報告会を開催しています。また、3年生は「販売実習」「起業家研究」「企業実習」に取り組んでの学習成果を1、2年生及び協力企業や学校関係者、地元中学生に対して報告会を実施しています。

このような取り組みを通して、生徒の職業観や勤労観を高め、地域とともに課題を解決するなど地域社会に貢献し、社会人として必要な資質・能力を高めています。



<販売実習>



<起業家研究>



<企業実習>



<学習報告会>

(2) 主な学校行事

- 4月 始業式、入学式、対面式、PTA 総会
- 5月 春季生徒総会、オンライン学校
- 6月 第1回考査、全商ビジネス計算実務検定、全商簿記実務検定、全商ビジネス文書実務検定、芸術鑑賞会、スポーツフェスティバル①
- 7月 接客マナー講習会、三者面談
- 8月 オープンキャンパス、就職達成セミナー
- 9月 第2回考査、外部講師面接、インターンシップ(2年)、全商英語検定、全商情報処理検定
- 10月 文化祭、オープンキャンパス
- 11月 第3回考査、ロードレース大会、全商ビジネス計算実務検定、全商ビジネス文書実務検定、販売実習、スポーツフェスティバル②
- 12月 修学旅行(2年)、全商英語検定、全商ビジネスコミュニケーション検定
- 1月 全商情報処理検定、全商簿記実務検定、栗原版デュアルシステム学習報告会
- 2月 第4回考査、全商商業経済検定、同窓会入会式
- 3月 卒業式、修業式、離任式

(3) 学校制服紹介

ブレザータイプの制服です。スラックスを着用する場合はネクタイ、スカートを着用する場合はリボンを身に付けます。今年度よりウォッシュブルの生地に変更しました。※女子用スラックスもあります。



(4) 本校生徒の活動の様子



<スポーツフェスティバル>



<ロードレース大会>



<花壇の整備>



<生徒商業研究発表大会>



<スピーチコンテスト>



<ワープロ競技大会>

4 在校生からのメッセージ

一迫商業高等学校は、県北唯一の商業教育に特化した学校です。生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に発揮することができます。

商業教育は、現代社会で必要不可欠なスキルを身につけることができる分野です。本校の授業では、ビジネス基礎、情報処理、簿記などの基礎から応用まで幅広く学ぶことができます。そして、本校独自の取り組みである「栗原版デュアルシステム」では、実践的な授業や地域との関わりを通じて、課題解決能力を身につけることができ、地域の方々からも好評をいただいています。

また、2年生の9月には、3日間のインターンシップがあります。そこでは、各事業所での業務を積極的に行い、普段の授業で習った商業の知識を実際のビジネスの場でどのように活用するかを実践できるチャンスとなっています。

さらに、先生方は、質問や相談に対しても、素早く丁寧に親身に対応していただけます。

生徒一人ひとりが各々に合った環境で学び、成長することができます。ぜひ、一迫商業高等学校の歴史を引き継ぎ、キャンパス生として、新たな挑戦に向かって一緒に歩んでいきましょう！

“商業の魅力は 商業高校に入って 感じましょう！”

生徒会長 遠山 航生さん(築館中出身)